

デンタルスタッフ・ミライ・プロジェクト ニュース vol.47

病気を持った患者さんへの歯科治療

医科から歯科へのアドバイス

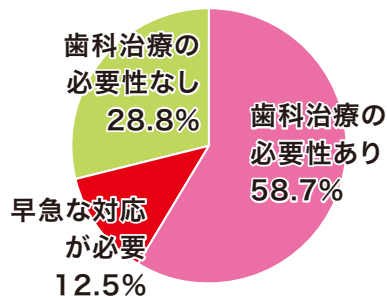


口腔の健康は全身の健康や健康寿命の延伸につながっています

来年4月の診療報酬改定に向けた議論では、要介護高齢者の約7割が何らかの歯科治療を必要(グラフ①)としている一方、約8割の要介護者(家族)が介護保険サービスでの口腔ケア指導を「全く知らない」と回答していることが報告され、対応に向けた検討が行われています。

また、昨年末に施行された健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法では、歯科疾患と循環器病発症の関係について研究を進めることが定められました。

国の認知症施策推進総合戦略でも、認知症の早期発見、早期対応のための体制整備の1つとして認知症の容態に応じた歯科治療や口腔機能管理を適切に行うことなど、医科からみた歯科治療の重要性が益々高まっています。

グラフ①
要介護者の約7割が
何らかの歯科治療が必要

出典:H28年度老人保健増進等事業報告書「介護保険施設における歯科医師、歯科衛生士の関与による適切な口腔衛生管理体制のあり方に関する調査研究」報告書(日本老年歯科医学会)

病気を持った患者さんへの
歯科治療で悩まれていませんか？

スタッフの方にもわかりやすくまとめられた参考書があります(おすすめテキスト：病気を持った患者の歯科治療)

ご希望の方には書籍見本をお送りします。お気軽に岡山県保険医協会事務局(☎086-277-3307 担当：岡嶋)までお問い合わせください。

おすすめ
テキスト 病気を持った患者の歯科治療
医科から歯科へのアドバイス

主な内容 ①口腔関連疾患 ②感染症 ③呼吸器 ④循環器 ⑤消化器 ⑥腎臓・泌尿器 ⑦血液 ⑧代謝・内分泌 ⑨膠原病 ⑩脳神経外科 ⑪精神科・心療内科 ⑫小児 ⑬整形外科 ⑭眼科 ⑮耳鼻咽喉科 ⑯産科・婦人科 ⑰皮膚科 ⑱抗血栓薬 ⑲抗癌剤・抗アレルギー剤 ⑳救急処置 ㉑在宅 ㉒放射線 ㉓薬剤使用上の注意 ㉔起こしやすい薬剤の副作用 ㉕臨床検査データの読み方と診療情報提供

DH Pro.セミナー講師
山崎瑞穂先生による
コラムのコーナー

Mizuho Yamasaki

もっと！カリオロジーを深めよう！

基本は食！脱灰因子を減らし、防御因子を増やす
細菌を活性化させないことが大切

6月30日と7月28日、第3期DH Pro.Schoolカリオロジー編(2日間コース)を開催しました。今期も地元岡山はもちろん、埼玉、兵庫、山口など県外からも受講生が来られました。

DH Pro.Schoolはカリエス予防には食育が大切だと考えます。どのような食べ物がムシ歯を誘発させるのか、ショ糖だけでなく発酵性炭水化物のとりかた、酸性環境を好む細菌増殖を防ぐためにも毎日当たり前のように3食摂っている食事を改めて深く考えてみました。

また、レントゲン読影や唾液検査相互実習、検査結果をもとにレーダーチャート、カリオグラムなど個別の予防プログラムを作成しました。

SM.LB菌が沢山出ているのに総合判定が低い方、総合判定が低いのにDMFTが高い方、色々な結果を踏まえどう予防プログラムを作ってどう患者さんに説明していくか。現在の受講生の医院でどのような検査が行われているのか。これからどうやれば医院で取り入れていけるのか。

患者様にどうアプローチすれば行動変容が起こるか、患者さんの個々のリスクを、きちんと把握し、唾液検査の重要性を伝えていけるか。

「全ては自分の為に、医院の為、大切な患者様の為に!!」

明日からの臨床に少しでも活かせるようにカリオロジーコースは更にパワーアップしていきます。次回は来年1月26日(日)、2月16日(日)です。お会い出来ることを楽しみにしております^^

